

第23回 健康・医療戦略参与会合（令和6年4月24日）

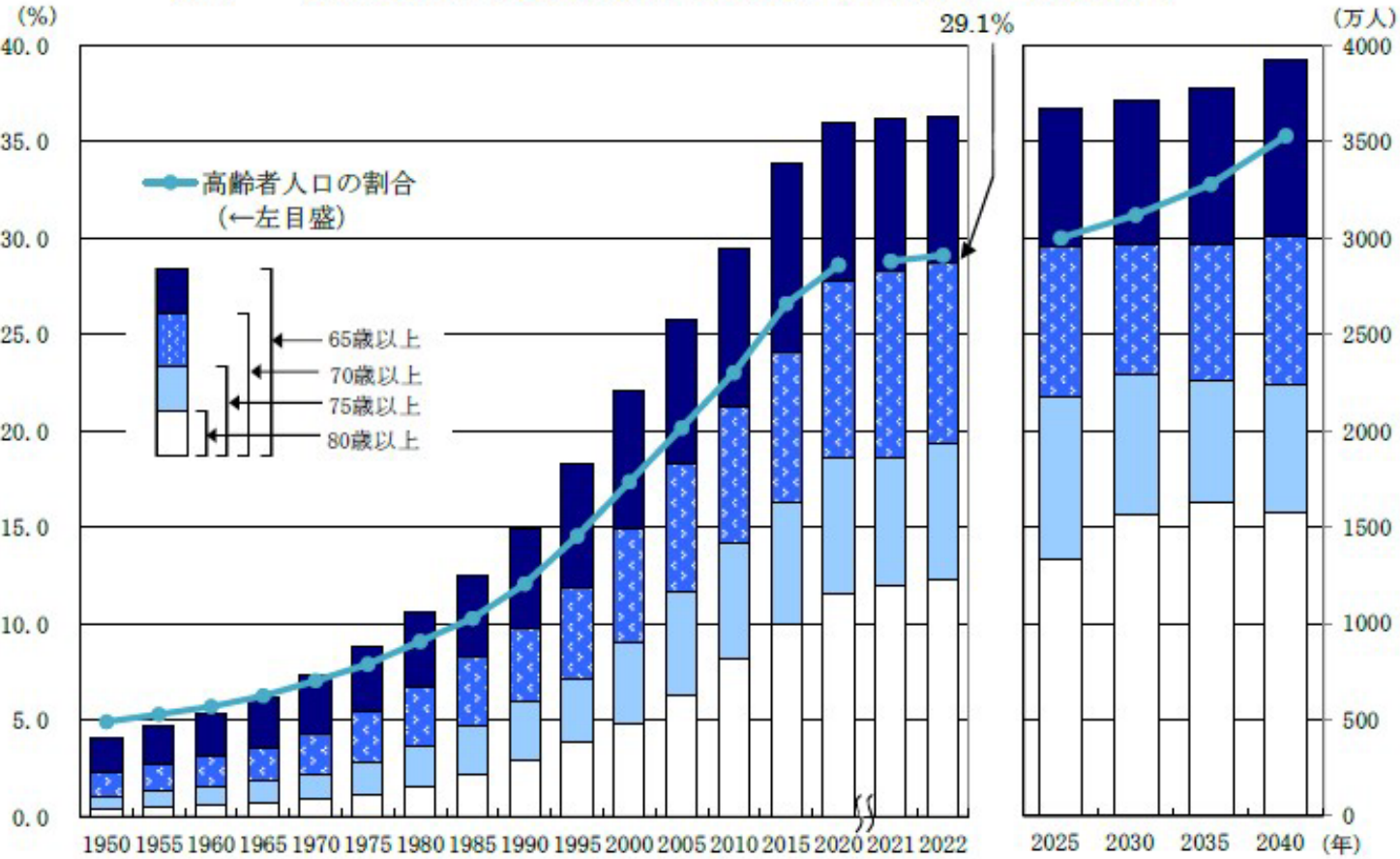
健康長寿社会の実現を目指した未来の医療  
— 予防医療の確立と社会実装 —

東京大学医科学研究所所長

中西 真

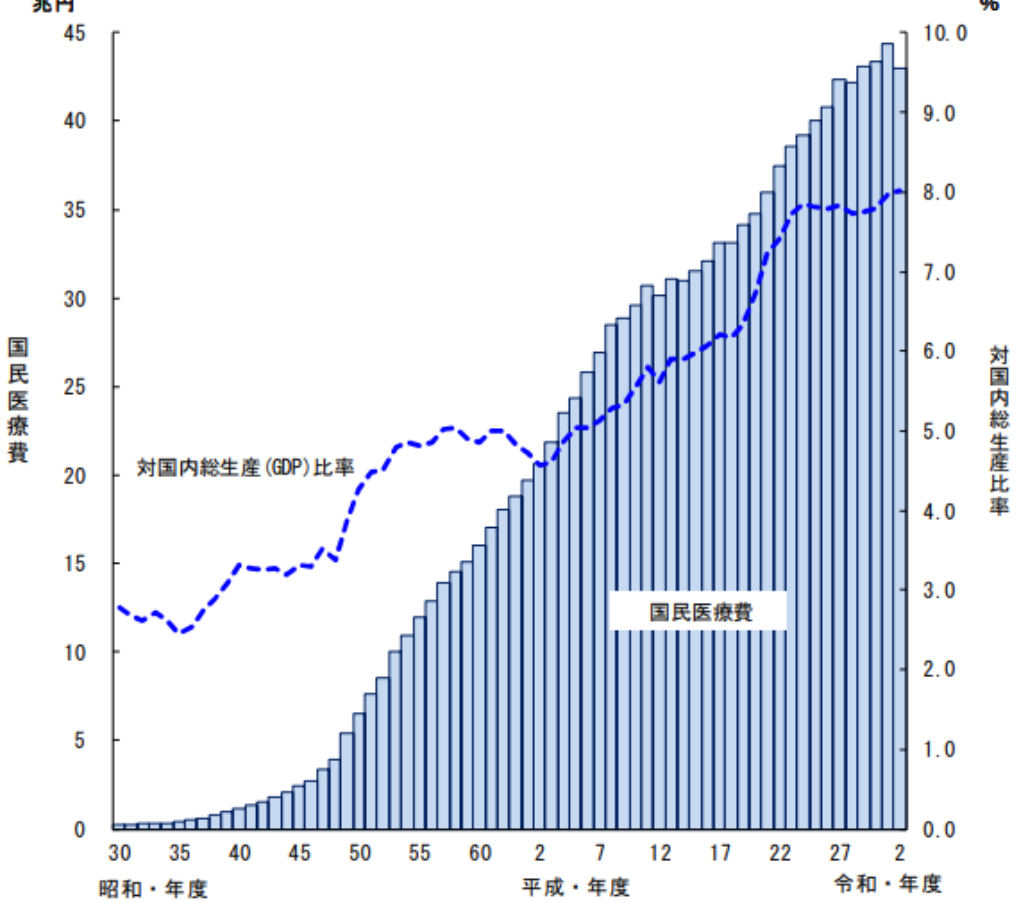
# 日本医療の最大の問題 高齢者数の増加による高齢者医療費の増大

図1 高齢者人口及び割合の推移（1950年～2040年）



総務省 統計局

図1 国民医療費、対国内総生産比率の年次推移



厚生労働省

# 高齢者医療費適正化に 疾患予防の概念がほとんどない

## 第4期医療費適正化計画（2024～2029年度）に向けた見直し

医療費の更なる適正化に向けて、①新たな目標として、複合的なニーズを有する高齢者への医療・介護の効果的・効率的な提供等を加えるとともに、②既存の目標についてもデジタル等を活用した効果的な取組を推進する。また、計画の実効性を高めるため、③都道府県が関係者と連携するための体制を構築する。

### 計画の目標・施策の見直し

#### ① 新たな目標の設定

- ▶ **複合的なニーズを有する高齢者への医療・介護の効果的・効率的な提供等**
    - ・高齢者の心身機能の低下等に起因した疾病予防・介護予防
    - ・医療・介護の連携を通じた効果的・効率的なサービス提供（例：骨折対策）
  - ▶ **医療資源の効果的・効率的な活用**
    - ・効果が乏しいというエビデンスがあることが指摘されている医療（例：急性気道感染症・急性下痢症に対する抗菌薬処方）
    - ・医療資源の投入量に地域差がある医療（例：白内障手術や化学療法の外來での実施、リフィル処方箋（※））
    - （※）リフィル処方箋については、地域差の実態等を確認した上で必要な取組を進める。
- ⇒ 有識者による検討体制を発足させて、エビデンスを継続的に収集・分析し、都道府県が取り組める目標・施策の具体的なメニューを追加

#### ② 既存目標に係る効果的な取組

##### 健康の保持の推進

- ▶ **特定健診・保健指導の見直し**  
⇒アウトカム評価の導入、ICTの活用など

##### 医療の効率的な提供

- ▶ **重複投薬・多剤投与の適正化**  
⇒電子処方箋の活用
- ▶ **後発医薬品の使用促進**  
⇒個別の勧奨、フォーミュラリ策定等による更なる取組の推進や、バイオ後続品の目標設定等を踏まえた新たな数値目標の設定

➔ さらに、医療DXによる医療情報の利活用等を通じ、健康の保持の推進・医療の効率的な提供の取組を推進

※ 計画の目標設定に際し、医療・介護サービスを効果的・効率的に組み合わせた提供や、かかりつけ医機能の確保の重要性に留意

### 実効性向上のための体制構築

#### ③ 保険者・医療関係者との方向性の共有・連携

- ▶ **保険者協議会の必置化・医療関係者の参画促進、医療費見込みに基づく計画最終年度の国保・後期の保険料の試算** 等
- ▶ **都道府県の責務や取り得る措置の明確化**
  - ・医療費が医療費見込みを著しく上回る場合等の要因分析・要因解消に向けた対応の努力義務化 等

厚生労働省<sup>1</sup>

## 健康増進計画

（25年度～34年度）

- ・ 地域の実情を踏まえた目標
- ・ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群に関する数値目標
- ・ 特定健診・特定保健指導の実施率に関する数値目標
- ・ 喫煙に関する数値目標

等

厚生労働省

# 予防医療が必要な2つの理由



病気を予防



趣味・仕事・食事・スポーツなど  
生きがいがある

QOLを向上できる

病気や怪我で治療を  
受ける場面が減る



医療費の削減



医療制度の維持につながる

# 予防医学の概念－1次予防から3次予防－

## 一次予防

健康を増進し、発病予防  
危険因子の管理

## 能動的一次予防

積極的な医療の介入

## 二次予防

発症後の早期発見・治療

## 受動的一次予防

生活習慣の改善

- ・睡眠
- ・バランスの良い食事
- ・禁煙
- ・適度な運動

## 三次予防

社会復帰（リハビリテーション）

・  
・



# 予防医療こそ最良の医療

## 東京大学医科学研究所



北里柴三郎先生

第日本私立伝染病研究所

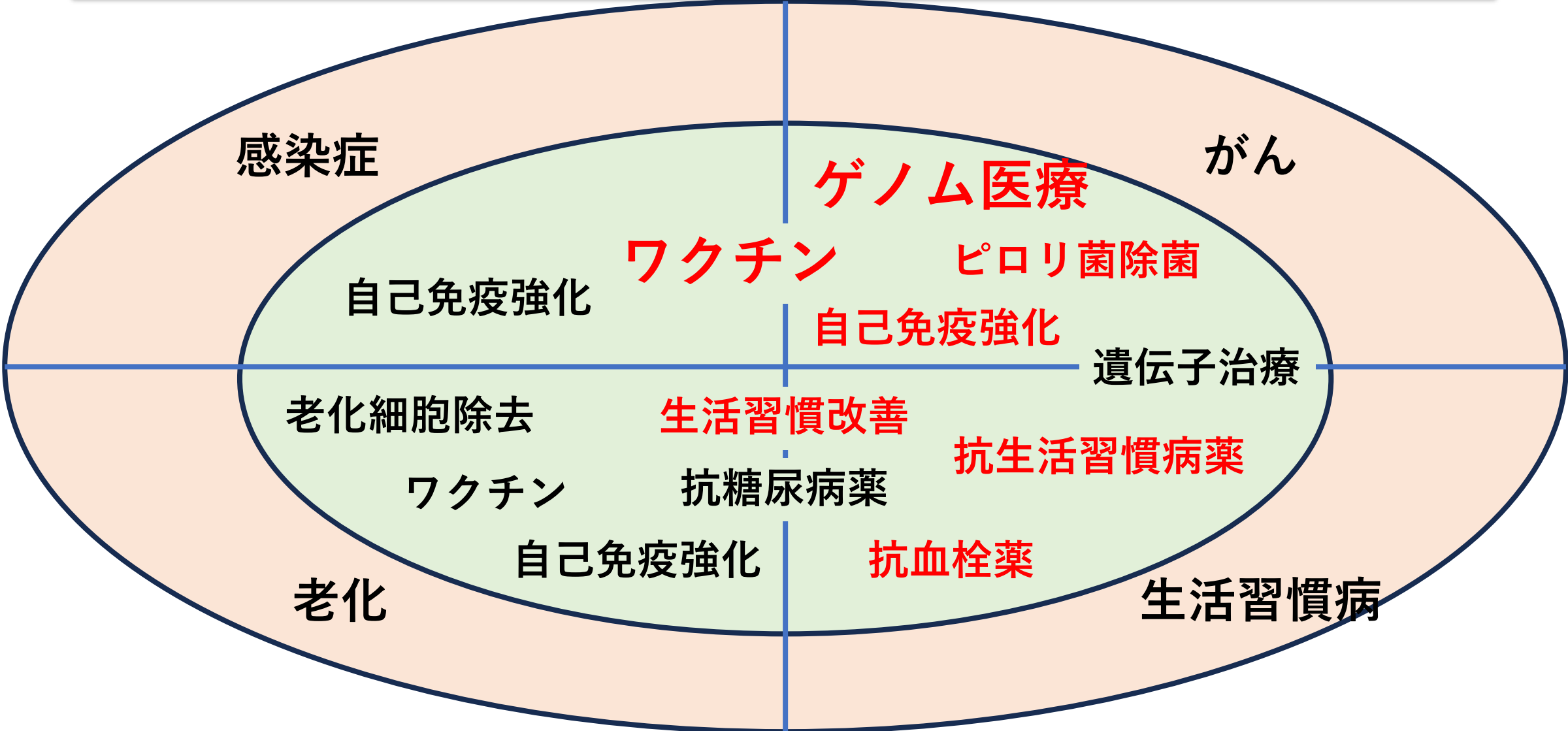


傳染病研究所 北里柴三郎  
(昭和十一年、現在に4棟完成)

## 明治から令和へと継承される理念

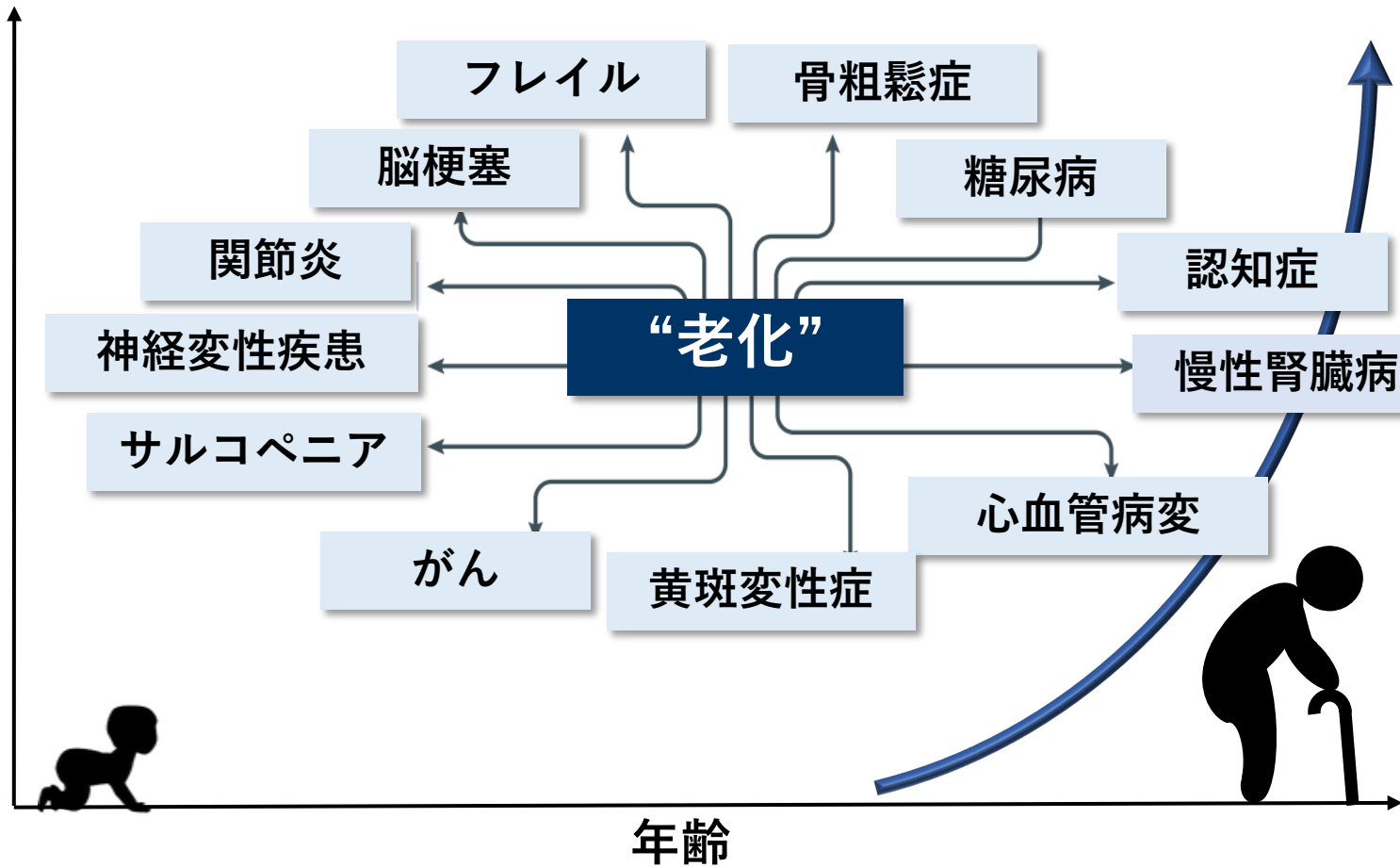
- 1) 実学の志 (社会に役立つ研究)
- 2) 包括的研究 (基礎＋橋渡し＋臨床)
- 3) 予防 (先制医療)

# 具体的な予防医療の実践 — 予防医療を統合的に推進する必要がある —

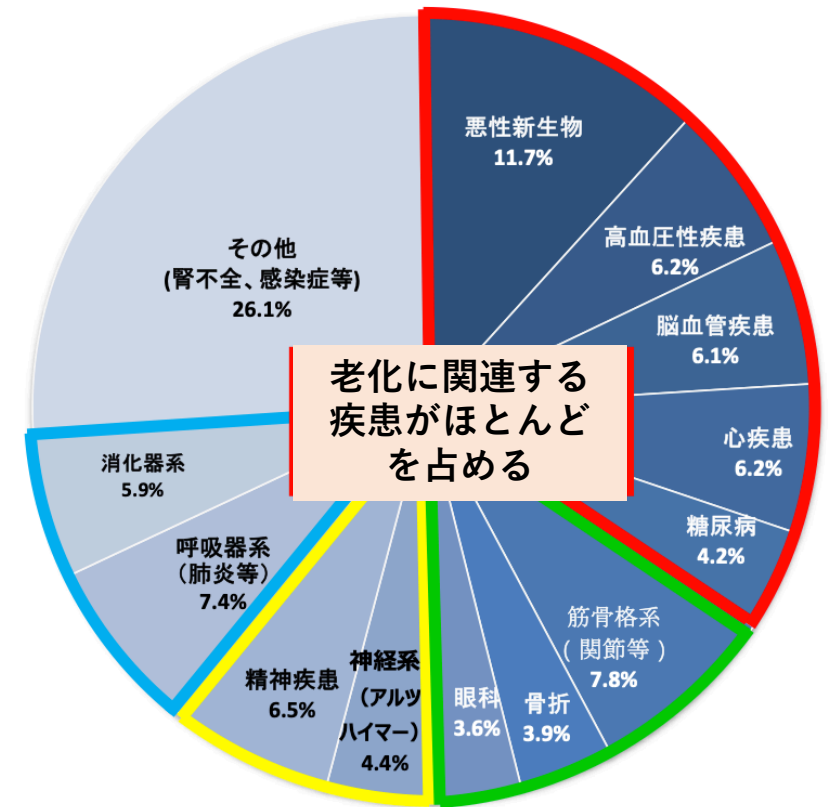


# 老化は様々な疾患の最も大きな危険因子

老化を理解し克服すればあらゆる疾患を予防できる？



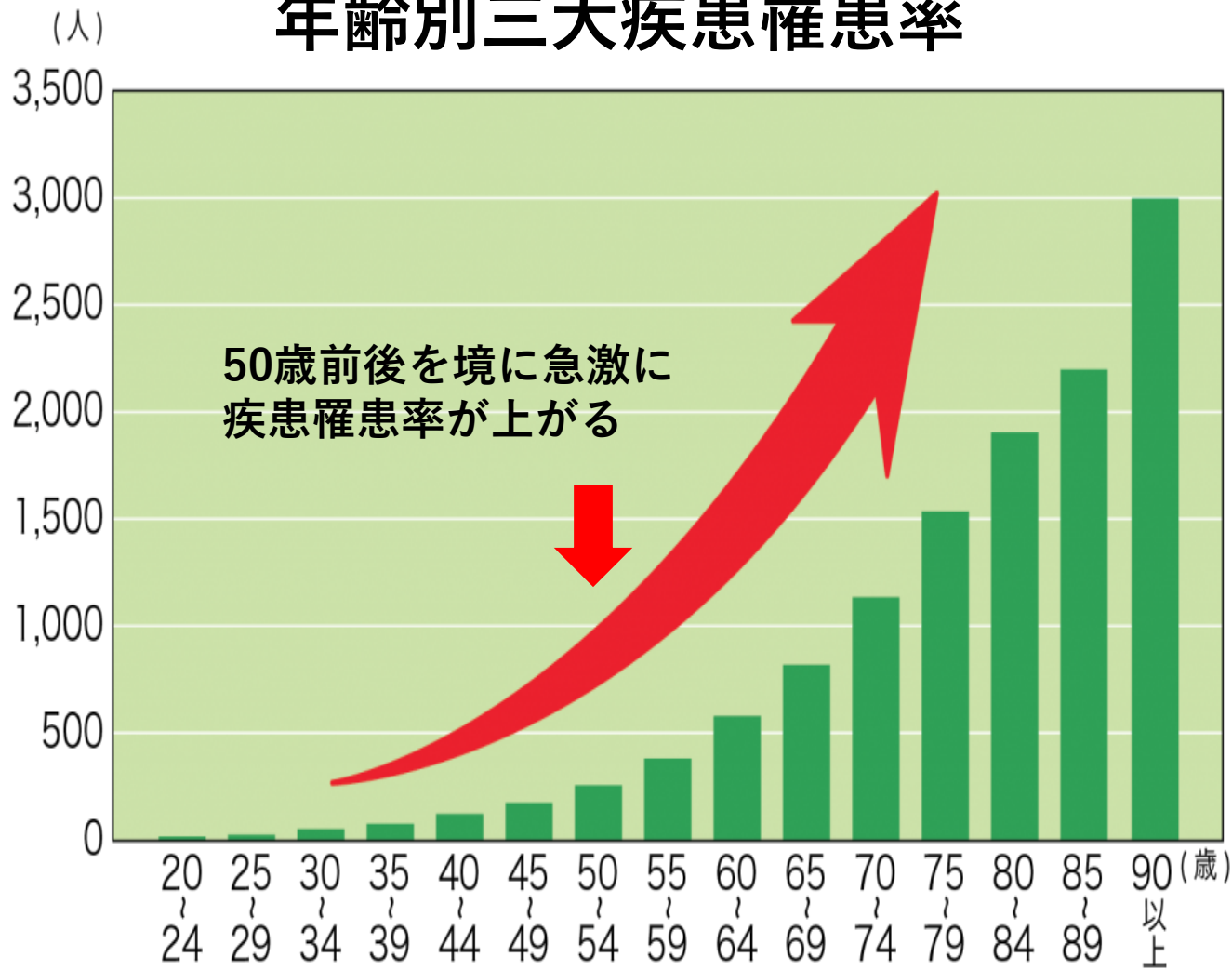
医科診療費の傷病別内訳 (2013年)





# 老化は未病状態である

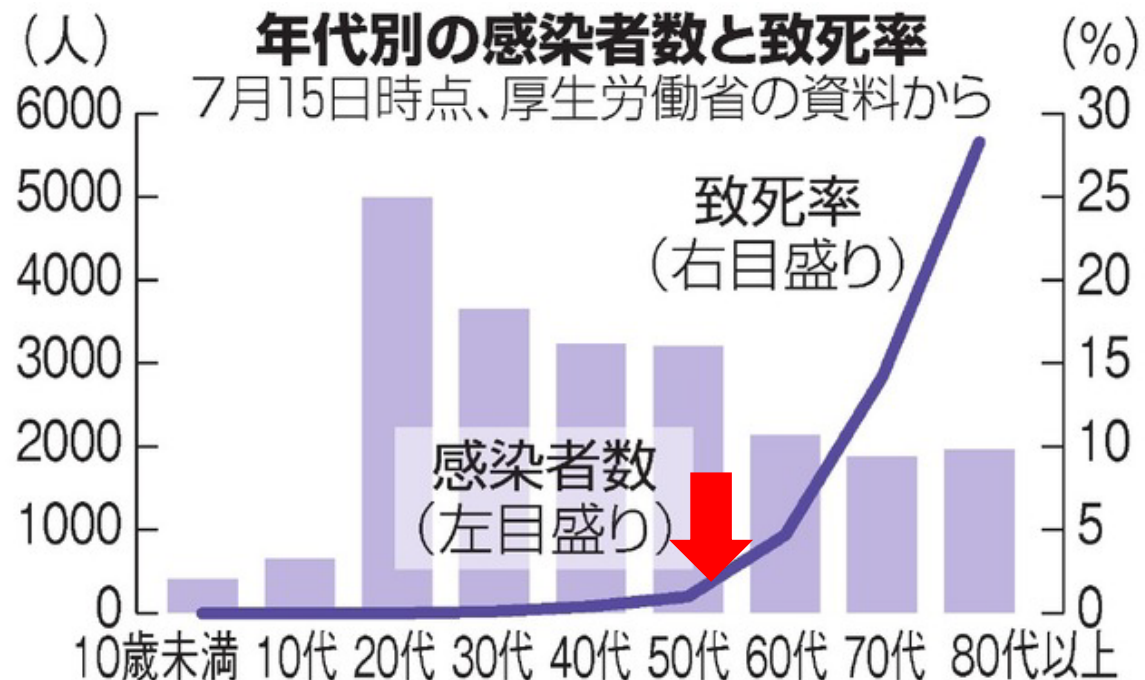
## 年齢別三大疾患罹患率



## コロナウイルス肺炎

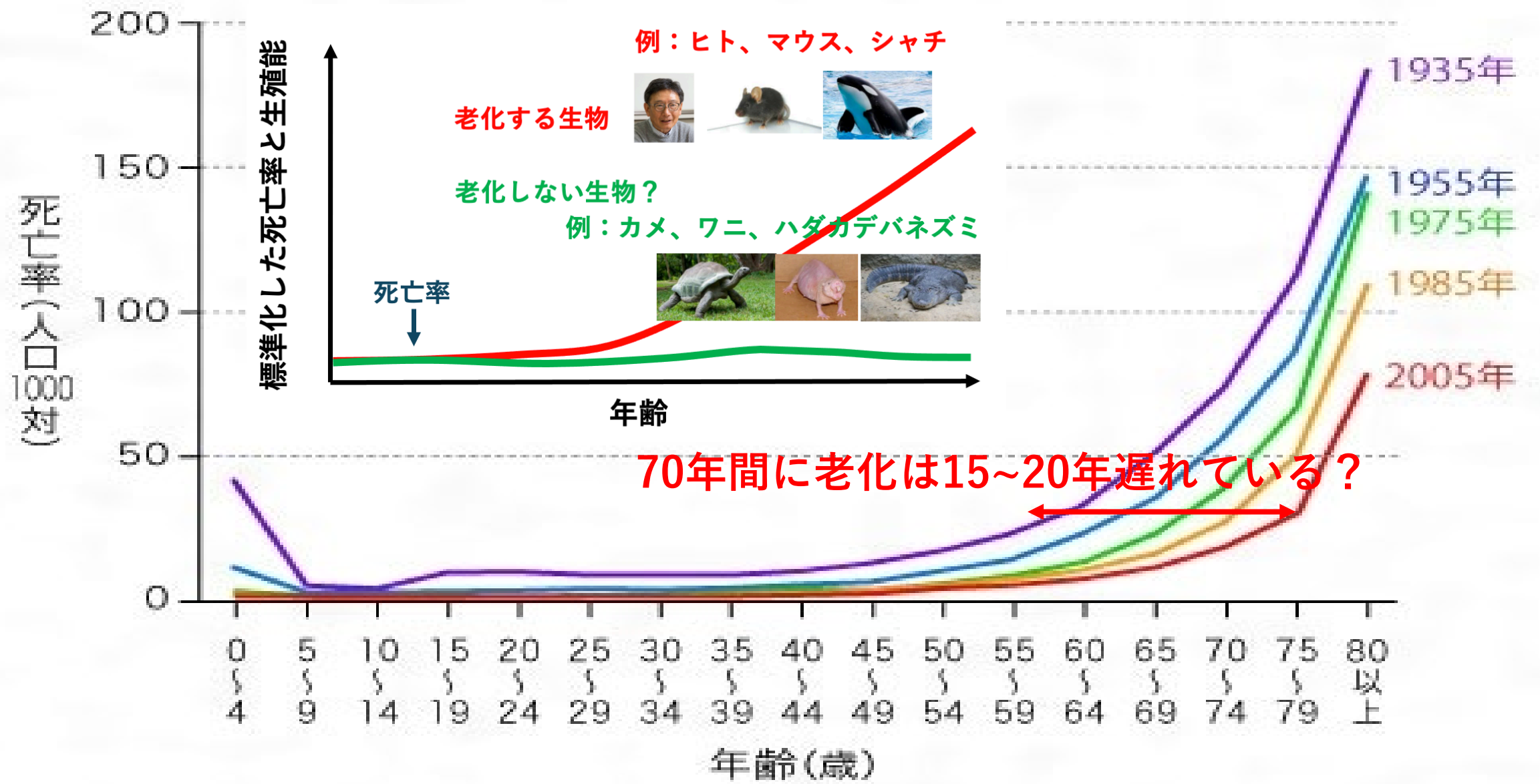
### 年代別の感染者数と致死率

7月15日時点、厚生労働省の資料から



朝日新聞デジタル

# 老化は介入可能である？



# 将来的な予防医療への具体的取り組み

## 【予防・健康管理への重点化】

